



同期の桜

能勢博(S48年卒/BSSO)

早いもので、学校を卒業してもう25年になります。生まれてから学生でいた期間よりも長い時間を社会人として生きてきたなどとは、とても信じられません。それにしても人間が全く成長していないという声もありますし、未だ気分はまるで学生時代(というよりは明大軽音楽クラブ部員時代。ちなみに私は軽音楽部です)と答えることにしています。そのままだというのは一体なんなのでしよう。今でもジャズが大好きで、都内のジャズクラブに行ったり、新譜を聞いたりしてたのしんでいます。

私は昭和44年に何もわからぬままビッグサウンズのサエティーに加入し、楽器などギターしかさわったことがないのでギターを担当していました。

同期が6人いて、現役時代は皆、名人になれないただの人でしたが、なんとそのメンバーが25年たった今でも毎年必ず集まり、学生気分にとびたつて喜んでるのであります。これは、全員が東京近郊に住んでいるという地理的なメリットもありましたが、何よりも皆かっこつけない善人? であろうであったということではないでしょうか。忘年会はもちろん毎年やっていますが、4、5年前に皆で暮らして東京のブルノットにフィル・ウッズを聴きに行った時は、こかつた。フィル・ウッズが何ごとかコメントして指さした客席に、ななんとカメメン・ワクレーがゆったり酒など飲んでいてはいないですか。ほとんど無理やり呼び出されてフィル・ウッズをバックに歌っ

た「ボデイ・アンド・ソウル」は忘れられませんが、毎年集まっていると、そんなよい事もあるのですよ。

去年は趣向を変えて、秋にゴルフ&バーベキューをやるとういうことになり、我々6名に加えて、1年先輩の仙台の斉藤さんと、静岡の竹花さん(なんと出張先の高松からかけつけた)を強引に呼びよせ、我家で「動くウエス(ウエス・モンゴメリ)」「やうなるキース(キース・ジャレット)」などのビデオを延々見、レコードを朝ま



で聴いて感慨にふけりました。

色々縁あって、この楽友会活動にも少しだけ参加させてもらっています。が、中心で活動されている方々の献身的姿勢にはいつも感心しています。同じ趣味の者同志で集まる楽しさが特に若い人達にも広がればよいなと思います。私も出来る限りのお手伝いをしたいと考えています。皆さん、まずは同期で集まりましょう。

のプロを輩出しました。

竹中(S41年卒、司会・ベース、杉山(S43年卒、ボーカル)、金平(S44年卒、金平隆&テキサスカンパニー、ライブハウス「ロンスター・カフェ」経営)、石川(S45年卒、リードギター)、荻野(S48年卒、ベタル・スチールギター)ライブハウス等で活躍している彼らに会ったら、ぜひ暖かいご声援をお願い致します。

私は、卒業直前に参加していたバンドからの誘いを断り、ウエスタン・ワールドとは縁のないイースタン・モータースに入社し、今は地元の音楽好きの人達(色々なジャンルの音楽と共にスチールギターを演奏するなどして、老後のボケ防止のために手足を鍛えております。

平成10年(1998年) 5月15日発行

(すべて当時の「平凡パンチ」掲載の写真)

